
第4回 室蘭市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

1. 開催日時 平成30年11月27日(火)13:00~14:10
 2. 開催場所 室蘭市役所2階3号議室
 3. 出席者 別紙1のとおり
 4. 議 事 (1) 室蘭市地域公共交通網形成計画(素案)について
(2) 補助事業に係る評価について
(3) 今後のスケジュール(予定)について
-

【議事1】

- ・ 事務局より、「議事1：室蘭市地域公共交通網形成計画（素案）について」の資料説明が行われた。

有村会長：それでは、ただいまの議案1、室蘭市地域公共交通網形成計画素案につきまして何かしらご質問等ございませんでしょうか。

おおよそ32ページからの説明となりましたが、それぞれの基本方針に沿ったかたちでの具体の事業の内容が40ページから、事業項目として1から19までが記載されています。例えば、高齢者の移動手段の確保が44ページにあります。またユニバーサルデザイン車両の導入促進も44ページに記載されていますが、高齢者対応で福祉含めた施策としてはいかがでしょうか。

A委員：すごく良いと思います。ユニバーサルデザイン、ノンステップは、自分もこの前怪我したときによく分かりました。歳を取っていないと分からないと思いますが、すごく良いと思います。

有村会長：45ページの事業項目14に待合環境の改善が記載されています。国庫補助金の活用のほか、待合所について近隣の店舗等の協力や広告等を活用した多様な手法とありますが、店舗等が協力できるかなど、まだこれから具体的に問いかけしていくことが出てくると思いますが、協議会の中ではこうした待合環境に関しては以前からも協議をしていたところですので、引き続き店舗等をお願いしたいところだと思います。あと、前回では触れられていなかったものがいくつかあるのかなと思って。43ページの最先端技術の調査研究でMaaSの話が出ていますが、この前の協議会でも私がお話しした事が福岡の方では既の実験が始まっていて、このあと全国的にどのように広がっていくかは、まだ分からない状況ですが、おおむねこの計画が2028年計画目標の達成確認を考えたときに、多分この技術が入ってきていますので、そこに関してはキャッチアップしていきますということ項目出しをしているということかと思っています。調査研究ばかりしていてもいけないのですが、どこかで実施する可能性はあるんですかね。事務局への問いかけなんですけども。調査研究を2028年までやったら駄目でよね。おおよそPLAN DO CHECK ACTIONのCHECKが2023年に入りますので、5年後の段階でそれぞれ技術が上がっているとか、使

える予算が決まっている、確定しているというものからこの施策が実施されていくことになるかと思えます。これすべてを実施するというお約束ではないということだと私は思っていますが、項目として挙げたものに関しては計画にあるから順次できるものを発信するということですね。それぞれのお立場の中で事業項目がいろいろ出されていますけども、問題点とか文言を変えてもらいたいとかそういうところございますか。

有村会長：交通事業者の方から、この内容でよろしいか改めてご確認と、かつ利用者になる代表の方々が今日は出席されていますので、こういう使い方をして頂きたいとか、こういうところでご協力頂きたいなどありましたら、なにかしらご発言頂きたいのですが。

B 委員：51 ページ以降の表の件で、前回の協議会の方でお話させて頂いたのですが、これは数値的なものを目標値として出されているものですが、これは協議会の皆様方と協力してやってく必要があると思えますので、ぜひとも最終的に 2023 年の CHECK の段階で利用者数が減少した場合に、事業者としても取り組んでいきますが、ぜひともこの協議会の皆様方にもお力を借りて進めていきたいと思えますのでよろしくお願いしたいと思います。

有村会長：ありがとうございます。ほか何かございますか。

C 委員：47 ページで、公共交通を守り育む取り組みと、担い手の高齢化が深刻している状況で人材確保や情報発信に取り組むという部分の項目の 19 一番下のところなんですけど、この人材確保、情報発信に取り組むことと、スクールバス運行の適正化というのはどういう関わりがあるのかははっきりしない部分があるのでご説明願えればと思います。

事務局：こちらは主に路線バスの方についてですが、朝の通勤通学で利用されるバスのラッシュ時と小学校のスクールバスの時間がちょうど重なってしまうことが事業者のヒアリングから分かりました。その結果、運転手の確保の面でかなり負担になっていることもありますので、これ以上そういうところを圧迫しないように、増やすばかりでなく、スクールバスの適正化について検討する項目になっています。具体的に今すぐなにを見直すとかっていうわけではないですが、事業者さんの負担になっていることを踏まえて今後の仕組みを考えていこうということです。

C 委員：わかりました。

有村会長：そのほかになにかこの内容についてコメントありますか。

D 委員：鉄道の方においても地域の住民の方が減ると当然鉄道の利用も減っていきます。その中で各事業者が地域のお客様にご不便をおかけしないように努力をして取り組んでいるところかと思えます。ただその努力、取り組みも、やはり一事業者の取り組みだけでは、まかないきれなくなっている部分もあるかと思えます。今日の会議も含めて地域の皆様と一緒に知恵を頂くなり、場合によっては一部のご負担を頂くという中で維持していかなければいけないというように思っておりますので、引き続きご指導よろしく願いいたします。

有村会長：ありがとうございます。交通事業者さんに今いろいろお話伺いましたが、38 ページと 39 ページで道路インフラ側からのコメントということで、開発局としてなにかございますか。42 ページになると思うのですが、アクセス道路について関係機関と連携する部分について、このような書きっぷりで良いかということも含めてなにかコメントござ

いますか。

E 委員：確認ですが、白鳥新道と道道中央東線の2つが特出しされていますが、これはなにか理由があるのでしょうか。

事務局：主な幹線道路を2つ出しました。期成会要望を引き続き実施しているので、そういった意味でこの2路線について書かせて頂きました。他にも細かい路線についても、もちろんありますが。

E 委員：例えば国道36号や37号だとかありますよね。そのあたりはこう書かれていないのには理由がありますか。

事務局：白鳥新道につきましては、立地適正化計画とあわせた一般的な交通軸になりますので、書かないわけにいかない主要な道路ですので書きました。その他路線については特に具体的には拡幅するなどまで書き込みませんので、これまで要望している事項も含めて表現したところです。

E 委員：改善などが必要ではないかということ挙げたということですか。

事務局：そうですね。また、現在、北海道で実施しているパーソントリップ調査や都市交通マスタープランとの表現を整合させながら記載しています。どちらかというとなら広域的な幹線道路については北海道さんで作成している都市交通マスタープランの方がそういう観点が強いのかなと思いますので、そこでの整合をはかる項目も必要だということで掲載させていただきました。

有村会長：これ以上、詳しくは書きづらいというか、パーソントリップ調査の方で行っているマスタープランと整合性を取る形でここではまとめているというイメージですよ。

事務局：はい。

有村会長：その他、室蘭開発建設部としてなにか気になる点ございますか。

E 委員：多分、事業項目6かなと思いながら見ていたんですが、特にありません。

有村会長：おそらく道路インフラ側に関してはパーソントリップ調査のマスタープラン側とうまく連携とるようにして頂ければと思います。それぞれ国道、道道、市道とありますが市道の方も今ゾーン30ですか、中島地区で、だいぶ速度を落とす施策を行ってますよね、ただそれは網形成とはなじまないかと思しますので、他の計画と連携するようまとめて頂きたいと思します。あと全体を通して運輸局が関連する項目が非常に多いかと思うのですが、なにかございますか。

F 委員：非常にうまくまとめて頂いていると思します。また、バスもそうですけども、今後いろいろ進めなくてはいけないものとして、ユニバーサルデザイン車両の導入ですとか、ICTを活用した公共サービス向上があると思します。事業者さんが中心になると思しますが、やはり事業者だけの力では広めることも難しいと思しますので、市の方ですとかまた国の補助制度もいろいろありますので、それらを活用して事業者の力を応援するような形で進めて頂けたらと思します。

有村会長：ありがとうございます。ほかなにかご質問、コメント等ございますか。およそご意見が出たということで、議事1につきましては、ここまでにしたいと思します。なに

か文言等の修正がございましたら、まだ直すことが可能だと思いますのでその時は事務局の方までご連絡一報お願いいたします。それでは素案ですがこの内容で進めていくということによろしいでしょうか。

- ・ 議事1について承認が得られた。

【議事2】

- ・ 事務局より、「議事2：補助事業に係る評価について」の資料説明が行われた。

有村会長：ありがとうございます。ただいまのご説明についてなにか質問ございませんでしょうか。計画を策定する国の補助事業を活用している以上、評価が必要だということかと思えます。3ページ目にABCというものを評価する必要があって、皆さんのご意見がきちんとAで、計画通りきちんと事業が実施しました。ただ年度の途中ではございますが、今のところきちんと素案ができて計画が策定されつつある状態ですので、わたし自身はABCのAでよいのかなと思っておりますが、皆さんAでよろしいですか。この計画事業評価という意味だとABCのAでよろしいかと思うんですが、このあとPLAN DO CHECK ACTIONを進めていく上で、事務局の室蘭市の方で、回の計画のアンケート分析の結果、GISデータですとか、いろいろ成果物としてあると思えます。こちらの方は、ぜひ保管していただいて今後ともDOとCHECKのところをしっかりとできるようなかたちにまとめて頂いて、それも含めたかたちで成果物ということで計画が出来上がったという解釈にして頂きたいと思えます。

それでは、議事2につきましては、皆さんこの評価でよろしいということですので、この評価で進めて頂くということをお願いいたします。

- ・ 議事2について承認が得られた。

【議事3】

- ・ 事務局より、「議事3：今後のスケジュール（予定）について」の資料説明が行われた。

有村会長：ありがとうございます。それではただいまご説明がありました今後のスケジュール予定につきまして、なにかご質問等ございませんでしょうか。

有村会長：このあと12月に市議会定例会での報告があって、年明け1月から2月上旬までパブリックコメントを実施、そのあと第5回の法定協議会が2月中旬に開かれまして、これで計画案が完成ということになります。だいぶタイトなスケジュールですけれども、少なくとも市議会の前までに文言の修正等は大丈夫でしょうか。定例会を通したあとだと少し難しくなりますかね。

事務局：修正等がある場合は、今月中が期限と考えています。

有村会長：今月中ですか。皆さんそれぞれお立場の中ですね、言葉をこのように修正してくださいですか、もしも細かい点でございましたら、ぜひ事務局にご一報ください。

よろしくお願いたします。

それではスケジュール予定につきましては、特段ご質問が無いということで以上をもちまして本日の議事を終了したいと思います。

以 上

室蘭市地域公共交通活性化協議会 委員名簿							
平成30年11月27日現在							
法定要件	区分	団体・所属	職名	氏名	役職	出欠	備考
交通事業者	バス	室蘭地区バス協会	事務局代表	はせがわ よしろう 長谷川 義郎		欠席	
		室蘭地区バス協会	事務局代表	たかもと かつひこ 高本 克彦		○	
	ハイヤー	室蘭ハイヤー協同組合	理事	ひらだて じょうじ 平館 常治		○	
	鉄道	北海道旅客鉄道(株) 東室蘭駅	駅長	なかむら ひろゆき 中村 博之		○	
道路管理者	国道	国土交通省北海道開発局 室蘭開発建設部道路計画課	課長	おのでら ひとし 小野寺 仁		○ 代理出席	道路調査官 小林 悟
	道道	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部地域調整課	課長	とおりのわ ひろし 通岩 公		欠席	
	市道	室蘭市都市建設部土木課	課長	かめい こういち 亀井 康一		○	
港湾管理者	室蘭港	室蘭市港湾部港湾政策課	主幹	にしだて たけし 西館 武志		欠席	
地域公共交通 の利用者	商工関係 団体	室蘭商工会議所	小売商業 部会長	こばやし ひでき 小林 秀樹		○	
		室蘭商工会議所	港湾運輸 交通部会長	つちくら たかし 土倉 崇		○	
		室蘭市商店街振興組合連合会	理事長	さいとう ひろこ 斉藤 弘子		欠席	
	住民団体	室蘭市町内会連合会	副会長	さとう みつぐ 佐藤 貢	監事	欠席	
		室蘭市町内会連合会	常任理事	こばやし ひでみつ 小林 秀光		○	
		室蘭市民生委員児童委員協議 会 本輪西地区	本輪西地区 会長	さいとう いさむ 齊藤 勇		○	
		室蘭市民生委員児童委員協議 会 本室蘭校地区	本室蘭校地区 会長	たなか うたこ 田中 諒子		○	
学識経験者	学識 経験者	室蘭工業大学くらし環境系領域	准教授	ありむらみさる 有村 幹治	会長	○	
その他市長が 必要と認める 者	北海道 運輸局	国土交通省北海道運輸局 室蘭運輸支局	首席運輸 企画専門官	つじえ としふみ 辻栄 敏文		○	
	北海道	北海道胆振総合振興局 地域創生部地域政策課	課長	みずい けいすけ 水井 啓介	監事	○ 代理出席	主査(連携・協働) 佐々木 敏彦
	北海道警 察	北海道札幌方面 室蘭警察署交通第一課	課長	おみ とみお 尾見 富雄		○ 代理出席	規制係長 藤田 稔
地方公共団体	室蘭市	室蘭市生活環境部	部長	すぎもと ひさお 杉本 久佐男		○	
		室蘭市都市建設部	部長	さとう はじめ 佐藤 肇	副会長	○	

敬称略